

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	下水道事業会計負担金										事業コード	040301540332		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	2 計画的な上下水道施設の整備								施策コード	922			
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課							所属長	谷口 学				
会計情報	款	04 衛生費		項	03 下水道費		目	01 下水道施設費		会計	01 一般会計	決算附属資料	159	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (企業会計への負担金)													
関連事業	下水道事業会計各事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	下水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、下水道事業会計の財政基盤の安定を図る。					
対象者	-		対象者数	-	単位あたりコスト	-
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (企業会計への負担金)					
委託先・実施主体等	-					
事業概要 (箇条書き)	下水道事業会計への負担金(令和5年度から農業集落排水事業特別会計を下水道事業に統合)					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	1,532,047	下水道事業会計への負担金			

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	968,324		1,680,524		1,660,131						
	② 補正予算	56,202		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0						
		前年度繰越	0		0		0					
		次年度繰越	0		0							
	小計(①～③)		1,024,526		1,680,524		1,660,131		0			
予算財源内訳	① 一般財源	1,024,526		1,680,524		1,660,131		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		0		0		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	1,024,526		1,680,524								
	③ 執行額	958,334		1,532,047								
	④ 執行率	93.5%		91.2%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.01	/	0.00	0.02	/	0.00	/				
	② 概算人件費	80		120								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		958,414		1,532,167								
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	下水道事業会計負担金(地方創生臨時交付金)		種類	衛生費国庫補助金		実績金額	25,147	決算附属資料	17	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R3			R4			R5			R6			最終目標
	【定性的評価のため入力なし】		/			/			/			/			
			/			/			/			/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R3			R4			R5			R6			最終目標
	負担金決算額	百万円	908.3	/	940.8	958.3	/	968.3	1532.0	/	1680.5		/	1660.1	-
		単位あたりコスト	-			-			-						
			/			/			/			/			
		単位あたりコスト													

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図るうえで必要である。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営の一助となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	企業会計(下水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(下水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】今後も適正に繰出を実施する必要がある。		
改 善 策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。		

VI 二次評価(事業所屬外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 預算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持	☐ 廃止/休止	☐ 予算拡充	☐ 予算縮減
	☐ 他事業を統合 (統合事業名:)	☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)		

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

I 事業属性

(単位：千円)

事業名	上水道事業会計負担金										事業コード	040401540262		
政策体系	基本政策	9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち							政策目標	2 産業基盤の整備				
	施 策 名	2 計画的な上下水道施設の整備								施策コード	922			
事業担当	所属	08020000 財務部 財政課							所属長	谷口 学				
会計情報	款	04 衛生費		項	04 上水道費		目	01 上水道施設費		会計	01 一般会計	決算附属資料	159	頁
計画期間	開始年度	平成18年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	地方自治法、地方公営企業繰出金について(総務副大臣通知)													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (企業会計への負担金)													
関連事業	上水道事業会計各事業													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	上水道事業の健全な運営を図るため、負担金を支出して、上水道事業会計の財政基盤の安定を図る。					
対象者	-		対象者数	-	単位あたりコスト	-
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☒ その他 (企業会計への負担金)					
委託先・実施主体等	-					
事業概要 (箇条書き)	上水道事業会計への負担金(平成29年度から簡易水道事業を上水道事業に統合)					
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	136,484	水道事業会計への負担金			
	投資及び出資金	236,683	水道事業会計への負担金(うち出資金分)			

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	355,189		433,359		480,073		0				
	② 補正予算	45,834		0		0		0				
	③ 繰越予算	0		0		0		0				
	前年度繰越	0		0		0						
	次年度繰越	0		0								
	小計(①～③)	401,023		433,359		480,073		0				
予算財源内訳	① 一般財源	401,023		409,559		398,373		0				
	② 国支出金	0		0		0		0				
	③ 府支出金	0		0		0		0				
	④ 地方債	0		23,800		81,700		0				
	⑤ その他特財	0		0		0		0				
決算情報	① 流充用額	0		0								
	② 配当予算	401,023		433,359								
	③ 執行額	400,176		373,167								
	④ 執行率	99.8%		86.1%								
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.01	/	0.00	0.01	/	0.00	/				
	② 概算人件費	80		96								
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		400,256		373,263								
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	上水道事業会計負担金(一般会計出資債)		種類	衛生債		実績金額	23,800	決算附属資料	52	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R3			R4			R5			R6			最終目標
	【定性的評価のため入力なし】		/			/			/			/			
			/			/			/			/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R3			R4			R5			R6			最終目標
	負担金決算額	百万円	353	/	360.2	400.2	/	355.1	373.2	/	433.4		/	480.1	-
		単位あたりコスト	-			-			-						
			/			/			/			/			
		単位あたりコスト													

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度 の 取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	企業会計(水道事業会計)の円滑な運営を図るうえで必要である。	☒ 高い ☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	企業会計に負担金を支出することにより、企業会計(水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	企業会計(水道事業会計)の円滑な運営の一助となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	地域公営企業繰出基準に基づき、企業会計(水道事業会計)に負担金を支出することにより、企業会計(水道事業会計)の円滑な運営を図ることができた。【定性的評価】 今後も適正に繰出を実施する必要がある。		
改 善 策	担当課との十分な調整を行い、適正な繰出金額の精査に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--